

募集対象者郷土の空の旅を満喫



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、5月26日（日）航空自衛隊新潟分屯基地において、航空自衛隊入間ヘリコプター空輸隊の支援を受け体験搭乗を実施しました。



当日は、絶好の飛行日和に恵まれ募集対象者ら60名が2組に分かれてCH-47Jに搭乗し、約20分の新潟市上空の旅を満喫しました。機内からは、信濃川に架かる国の重要文化財である万代橋や新潟県庁など、普段見慣れている場所を上空から眺め、搭乗した学生らは「普段何気なく歩いている万代橋を上空から見る事ができて感激しました」などの声がありました。



また、この貴重な景観を収めようとスマートフォンを取り出し、機上勤務員との記念撮影や、田植えが終わった田園風景を撮影するなどして、新潟市上空の旅を終えました。

新潟地本は搭乗者らに体育館広報ブースで、自衛隊の任務・活動等を紹介するパネルを展示するなど自衛隊を広くPRしました。また、自衛隊グッズが当たる抽選会及び制服試着コーナーを実施し、体験搭乗者に楽しんでもらい親近感の醸成を図りました。



新潟地本は、体験搭乗を通じて航空自衛隊に対する理解と関心を深めるとともに、今後も関係部隊等と連携し募集対象者へ自衛隊をPRしていきます。